



5月24日
東地申
第32号

「『変革2027』の実現に向けた組織の再編について」に関する説明申し入れ（信号通信関係） 団体交渉を行う（2回目）

（前回の続きです）

2. 東京信号通信設備技術センター信号セクション安全グループにおける「年間を通した平均的な業務量の基準」および「年間を通した業務の繁閑」を具体的に示すこと

【会社】現業機関での柔軟な働き方推進の趣旨を踏まえ、現業機関における業務量については、年間を通した平均的な業務量の基準として、「変形等」「交代」「乗務員」の1日当りの出面数(作業ダイヤ数)を「管理一般」に分けて示すこととする。なお、上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや、一般社員が管理者の業務を行う場合がある。また、業務の繁閑等に応じて、作業ダイヤを柔軟に設定(出面数や勤務種別の変更)することとする。時代や環境の変化に柔軟に対応し、変革をスピードアップさせるために仕事と組織を見直すものであり、働きがいの向上や経営体質の強化を実現していく。

申64号交渉は

形だけだった！

交渉団の質問に対して

ため息交じりで回答！

職場には

新たなPTチーム発足の掲示！

ますます大混乱！

- ・交渉が進まない中、職場では業務内容を知らされないまま異動先が示され口止め！人間関係が崩壊し疑心暗鬼状態！
- ・6月22日の線路閉鎖の承認が組織移行のため調整中！

申64号の確認事項の重みを首都圏本部は認識しろ！

TOKYO MAIL NEWS No. 316 / 2023.5.18

信号通信・電力職場大混乱!!

6月発足の「信号通信設備技術センター」業務量・内容不明！業務の移管先不明！

にもかかわらず、各職場のワーキンググループ（以下WG）は業務の引き継ぎを行い労働条件の変更を行おうとしている！

東地第64号 5月8日申し入れ
『変革2027』の実現に向けた組織の再編について
移行期間準備と称したワーキンググループによる職場労働条件変更を
5月15日開催
即時中止を求める緊急申し入れ

1. 現在実施されている移行期間準備と称したワーキンググループによる職場の労働条件変更実施を即時中止させること。
(回答) 実施実施に向けた必要な準備を進めているところであり、中止する考えはない。

首都圏本部は
職場の混乱を収めるために

- ①職場・WGの必要フォローを行う
- ②しかるべきタイミングで発足日等を示す
- ③申32・33号の説明交渉で誠実に回答する

東地申32・33号説明交渉を早急に開催し労働条件を具体的に示すように要求！！



【つづき・やり取り】

組 合	会 社
◆業務量の繁閑について示すこと。	◎安全パトロール・意見交換会に繁閑はない。10条教育が7月から8月にかけて行う予定なので、第1クォーターから第2クォーターが繁になると予想している。

3. 東京信号通信設備技術センター信号セクション企画・人材グループにおける「年間を通した平均的な業務量の基準」および「年間を通した業務の繁閑」を具体的に示すこと

【会社】現業機関での柔軟な働き方推進の趣旨を踏まえ、現業機関における業務量については、年間を通した平均的な業務量の基準として、「変形等」「交代」「乗務員」の1日当りの出勤数(作業ダイヤ数)を「管理一般」に分けて示すこととする。なお、上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや、一般社員が管理者の業務を行う場合がある。また、業務の繁閑等に応じて、作業ダイヤを柔軟に設定(出勤数や勤務種別の変更)することとする。時代や環境の変化に柔軟に対応し、変革をスピードアップさせるために仕事と組織を見直すものであり、働きがいの向上や経営体質の強化を実現していく。

5月18日、職場に掲示された資料の中に

「上野駅連動PT」が突如示される！

提案内容の変更であり、地本は再三再提案を求めるも

首都圏本部は「大きな変更ではない！再提案しない！」



組 合	会 社
◆企画・人事グループの仕事を具体的にすること。	◎実行計画や業務改革の支援、コンプライアンス、訓練計画、システム関連対応業務分析に関する統計である。
◆5月18日に職場に掲示された資料の中に「上野駅連動更新 PT」が突如入っている。これは、提案内容の変更である。私たちは、昨年の提案内容で団体交渉を行っている。再提案を強く求める。	◎大きな提案の変更ではないので再提案はしない。団体交渉で議論をしていきたいと考えている。必要なタイミングであると首都圏本部で判断し、提案したものである。
◆「上野駅連動 PT」について、いつ決めたのかを明らかにすること。	◎「上野駅連動 PT」については、5月18日以前に決めたことである。
◆6月22日の線路閉鎖の承認が出来ておらず、現場は混乱している。理由を明確に示すこと。	◎組織再編の移行中のため、線路閉鎖承認会議で調整をしているところである。
◆仕事の繁閑について、示すこと。	◎教育に関しては、第2クォーターが繁となることを予想している。

これがまかり通ってしまえば、全系統へ波及する重大な問題だ！

議論進まず、ここで終了。次回はこの続きから行います。